

聖マリア病院を過去に受診された、または現在受診中の皆様へ

聖マリア病院では、皆様の診療情報等を利用し、下記の研究を実施しております。

研究内容につきましては、社会医療法人雪の聖母会、該当委員会にて許可されたものです。本研究の対象者に該当される可能性のある方で、ご自分の診療情報等を研究目的に利用してほしくない場合、また、研究について詳細にお知りになりたい場合は、下記の問い合わせ先まで、ご連絡をお願いいたします。

① 研究課題名	血栓溶解療法を行った上腸間膜動脈閉塞症の検討 ～CPOT は血栓溶解療法後の手術適応の指標の一つになるか？～		
② 実施予定期間	承認日から 2018 年 3 月 31 日（予定）		
③ 対象患者	血栓溶解療法を行った上腸間膜動脈閉塞症の患者		
④ 対象期間	2010 年 4 月 1 日から 西暦 2017 年 3 月 31 日		
⑤ 研究機関の名称	社会医療法人雪の聖母会聖マリア病院		
⑥ 対象診療科	外科		
⑦ 研究責任者	氏名	爲廣一仁	所属 救命救急センター 集中治療科
⑧ 使用する資料等	診療情報より下記事項を調査します。 1) 年齢 2) 性別 3) 血栓溶解療法の効果 4) 血栓溶解療法後の看護記録（CPOTによる痛みのスコア化） 5) 予後 血液学的検査：白血球数、CRP、pH、BE、AST、ALT、乳酸		
⑨ 研究の概要	腸間膜動脈閉塞症は緊急に治療を行わないと予後不良となる疾患です。治療は外科手術、血栓溶解療法、保存的治療などが行われます。血栓溶解療法は患者に対する侵襲は手術と比べ少なく、適切な患者に、適切な時期に行えば、非常に優れた治療法であります。その適応や血栓溶解療法後に手術が必要になる症例があり、未だ十分な状況とは言えません。血栓溶解療法を行った症例の検討を行い、CPOT によるスコア化が早期手術の指標の一つとなることを検証します。		
⑩ 倫理審査	研究倫理審査委員会承認日	2017 年 8 月 28 日	
⑪ 研究計画書等の閲覧等	研究計画書及び研究の方法に関する資料を他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で入手又は閲覧できます。詳細な方法に関しては下記の問い合わせ先にご連絡ください。		
⑫ 結果の公表	第 54 回日本腹部救急医学会総会で発表します。		
⑬ 個人情報の保護	個人情報を保護するために責任者を設定します。研究する際も、個人を特定できる情報は使用せず、特有の番号で管理します。学会で発表する場合も個人を特定できる情報は使用しません。		
⑭ 知的財産権	聖マリア病院に属します		
⑮ 研究の資金源	なし		
⑯ 利益相反	研究結果に影響を与えるような利害関係はありません		
⑰ 問い合わせ先・相談窓口	聖マリア病院 救命救急センター 集中治療科 爲廣一仁		